



令和5年2月10日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993 東証スタンダード市場)
問合せ先 財務経理部長 堀内 治芳
(TEL. 03-6451-4300)

令和5年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、最近の業績動向を踏まえ、令和4年8月9日に公表しました令和5年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和5年3月期通期連結業績予想数値の修正（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	包括利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A)	15,670	153	38	△190	△1.62	△155
今回修正予想 (B)	12,647	193	23	△241	△2.06	△197
増減額 (B-A)	△3,023	39	△15	△50	-	△42
増減率 (%)	△19.3	25.8	△38.9	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (令和4年3月期)	17,381	63	△98	△292	△2.50	△294

2. 通期連結業績予想の修正理由

当社では、第3四半期において渡航制限撤廃に伴うインバンド復活により国内での利幅の取れる各店舗での国内外の個人顧客による需要の回復が見込めるものと想定していましたが、主要子会社である株式会社大黒屋において、その主力たる中国からの渡航者がコロナ施策の変更により発生した感染の急拡大に伴い同国からの渡航制限が再び顕在化した結果、今期における同国渡航者による売上の多くは見込めない事、また、効率的在庫管理を行った事で粗利の改善がみられた事で営業利益は改善するものの、当初予定していなかった退去費用等が発生した事で経常利益は減少する見込みです。かかる状況を鑑みて令和4年8月9日に公表した通期業績予想値を上記のとおり修正いたします。

なお、令和5年4月以降において同国の渡航制限撤廃後は同国渡航者によるインバンド再来が予想され、更なる売上の伸びが期待されます。

前期対比では売上高を除く営業利益は増収増益、経常利益以降は大幅な改善になる見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上